令和元年5月9日

　保護者　様

真岡市立中村中学校長　菊地　諭美

運動着の改定ついて

　緑風の候、保護者の皆様には益々ご清栄のことと存じます。

　日頃より、本校教育活動に対し、ご理解とご協力を賜り厚く感謝申し上げます。

　さて、本校運動着の見直しについてですが、平成30年度に実施したアンケート調査や本校PTA総務委員会、校内経営委員会を経て、下記のように改定に係る作業に入りましたのでお知らせをいたします。

記

１　運動着の改定について

運動着の見直し（改定の是非も含む）に伴う教職員やPTA総務委員会の検討から、運動着4点（長袖上下、半袖、ハーフパンツ）で2割のコスト削減は十分に可能であること、防寒、速乾性、吸汗性、耐久性等の素材の向上が可能であることが明確になりました。このことから、平成30年度末に保護者（生徒）対象のアンケート調査を実施し、その結果から裏面のように分析を行い、2020年4月に改定することといたしました。

今後、生徒・保護者への内覧、経緯説明等を行いながら、デザインの選定やその他の改定に係る作業を進めて参ります。

２　内覧会

（１）対象

　　①生徒　令和元年5月9日（木）～5月31日（金）

②保護者（小学校も含む）令和元年5月13日（月）～6月7日（金）

（２）場所

　　中村中学校玄関

（３）保護者内覧時間（休日を除く）

　　7:30～19:00　　＊水曜日は18:00まで

【事務局】

真岡市立中村中学校

〒321-4351　真岡市中203

Tel 82-2542　 Fax 83-8015

教頭（三田）、体育主任（加藤）

◇アンケート結果から

○現運動着の良い点としては、上位から①「特にない」、②「デザイン」、③「中村中らしさ」という順になった。「特にない」と回答した家庭は、小５～中２まで一定数見られた。「デザインが良い」と回答した家庭は、学年が上がるにしたがって多くなることから、運動着に対する愛着が次第に強くなっていくと考えられる。中村中らしさという定義は難しいが、20年間変わらないデザインであるということから、地域に定着した運動着であることが伺える。

○悪い点としては、上位から①「価格」、②「特にない」、③「デザイン」の順となった。「価格」については、「高い」という印象をもっている家庭が、約半数を占めていることが分かった。「特にない」と回答した家庭は、現在の運動着のままで良いとする家庭に多く見られた回答であった。「デザイン」に関しては、20年間改定が行われず、保護者自身が中学生の時代から変わっていないため、変更を求める回答が多かったと推測できる。

○「見直し」に関しては、意見が分かれていることが伺える。学年間で見ると、運動着の改訂目標として掲げた2020年4月に入学してくる児童家庭の約７割以上が、「見直し」あるいは「一部見直し」を求めていることが分かった。一方で、在校生や中村小学校の６年生などは「見直さないでほしい」という意見も見られた。その理由としては、「リサイクルができなくなる」が多くを占めた。

○自由記述では、現行の運動着では、「汚れが目立つ」ことや「乾きにくい」などの意見もあり、着用している生徒や、洗濯している保護者の率直な悩み等が記述されていた。

＊半袖と短パンの一部改定についても検討した結果、デザインのバランスが難しく、また、現行運動着の同一デザインによる素材変更の場合は、現行運動着よりもかなり割高になることから、長袖上下運動着と半袖、短パンを改定することとしました。

◇アンケート結果分析

①価格について「高い」と回答した保護者（生徒）は半数を占めている。

②防寒、速乾性、吸汗性、耐久性等の素材や機能の向上が図れる。

③2020年度入学する生徒（保護者）の「見直し」、「一部見直し」の回答が7割を占めている。

④十分な据え置き期間を設定することで、リサイクルは可能である。

《白長袖について》

現行の白長袖は、主に防寒目的であるため学校指定から除外し、防寒機能ウエア等の白インナーの着用を推奨していく。

＊アンケート集計結果は、本校ホームページにて公開しています。